



— 新・サマー防災キャンプ 実施報告 —

「地域の小中学生と一緒に活動」
新しいテーマで実施しました!



新しいテーマを盛り込んだ「サマー防災キャンプ」。企画と準備には、例年よりも多くの時間をかけました。



1. 活動報告

6月 企画・準備開始!

コアメンバー(1,2年生の実行メンバー)で ランチミーティング

みんなでアイデアや意見を出し合いながら、一つ一つ作りあげていきました。

ランチミーティングを何回も開き、今年の「防災キャンプの内容」が決まりました!

今年は「災害弱者の避難所生活について考える」です。

一番時間をかけたのは、地域の小中学生に参加してもらえる「体験型」のプログラム内容を考えることです。「考えては練り直し」、また「確かめては練り直し」でした。

そして、「高齢者の立場」と「車イスでの避難所生活」を体験する活動に決定しました。

★ プログラム内容(「しおり」より抜粋)

〈午前〉

8:45-9:00 受付

9:00-9:10 開会式

9:10-11:00

・防災クイズラリー

・避難所疑似体験

「災害弱者の避難所生活について考える」

11:15-12:15 自衛隊プログラム

〈午後〉

12:30-13:30 昼食

(自衛隊による炊き出しカレー)

13:35-14:25 防災グッズ作り

14:25-14:30 終了式



・避難所疑似体験 「災害弱者の避難所生活について考える」

「高齢者の立場」と「車イスでの避難所生活」を体験する活動を行いました。「高齢者疑似体験グッズ」と「車イス」は、伊丹市と宝塚市の社会福祉協議会にご協力いただき、貸していただきました。

また、伊丹市と宝塚市の社会福祉協議会の方には「災害弱者の避難所生活体験活動」のプログラムにも関心を持っていただき、当日には、見学に来てくださり、実際に体験活動にも参加していただきました。今年初めての手作りの活動でしたが、私たちの取組に関心を寄せていただいたことはとても嬉しく、励まされました。

*GLiS 生徒・地域の参加者の感想

- ・身体の動きや視覚聴覚が制限される中、勝手をよく知らない避難所で沢山の人がいると、だんだん動きたくなくなったりコミュニケーションを取りたがらなくなったりするかもしれない、と想像することができました。
- ・高齢者はこんなにしんどい思いしてると言うことがわかって実際の避難の際には高齢者の足元とか聴覚とかそういうところにも気をつけたいと思いました。
- ・体験してみたら、体がとても重たく、歩きにくくて、高齢者の方の大変さを実感することができて、よかったと思いました。また、実際に体験することが一番理解できると思いました。
- ・避難所の再現がとても上手かった！



・自衛隊プログラム

「災害時の支援活動と救護方法の実演」と「自衛隊炊き出しカレー」

今年も、自衛隊の方にご協力いただき、講演と実演をしていただき、そして「炊き出しカレー」を作ってくださいました。

*GLiS 生徒・地域の参加者の感想

- ・自衛隊の方々の活動は真似出来ないもので、こんなにも「いざ」というときのために日々訓練して下さることに感謝です。炊き出しのカレーは絶品でした。
- ・活動のおかげで災害時でも安心することができます。感謝しかありません。カレーの味は美味すぎて忘れられないです。
- ・実際の映像を見れて、より実感がわき、自衛隊の人がいてくれたことがどれほど、助けになったのか、よく理解できました。これを見ることで、もし自分が避難所生活になった時に、周りの人を助けようと思いました。



自衛隊の方の「人命救助」活動を映像で視聴



毛布でできる担架を教えてくださいました!



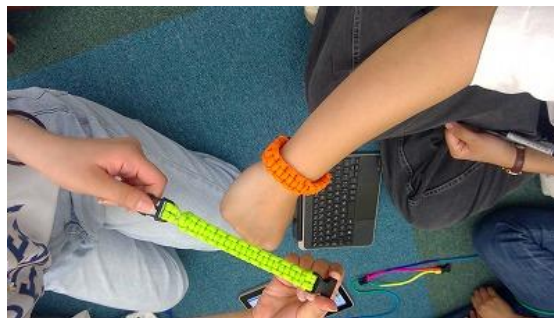
おいしいカレーをいただきました!



自衛隊の方にお礼を述べました。

・パラコード作り 「ブレスレットが、いざという時、ロープになる!」

地域の参加者の方に作り方を教えてました。気に入ってもらえてよかったです!



*最後に・・・

実施後に今回の「振り返り」をしました。

「地域の方たちとの話し合いをしやすいような環境をもっと作っていたらよかった。」

「プログラム通りの時間で進行できないところもあった。事前にもっと打ち合わせや確認が必要」といった意見が多くありました。

これからのGLiS類型主催の行事では、これらの課題を改善し、「参加していただいた地域の方との会話やコミュニケーションをより大事にする気持ちと姿勢」を持って活動していきたいと思っています。これからもGLiS生のアイデアで手作りの活動を考えていきますので、またぜひ参加してください!